



広報 みまた

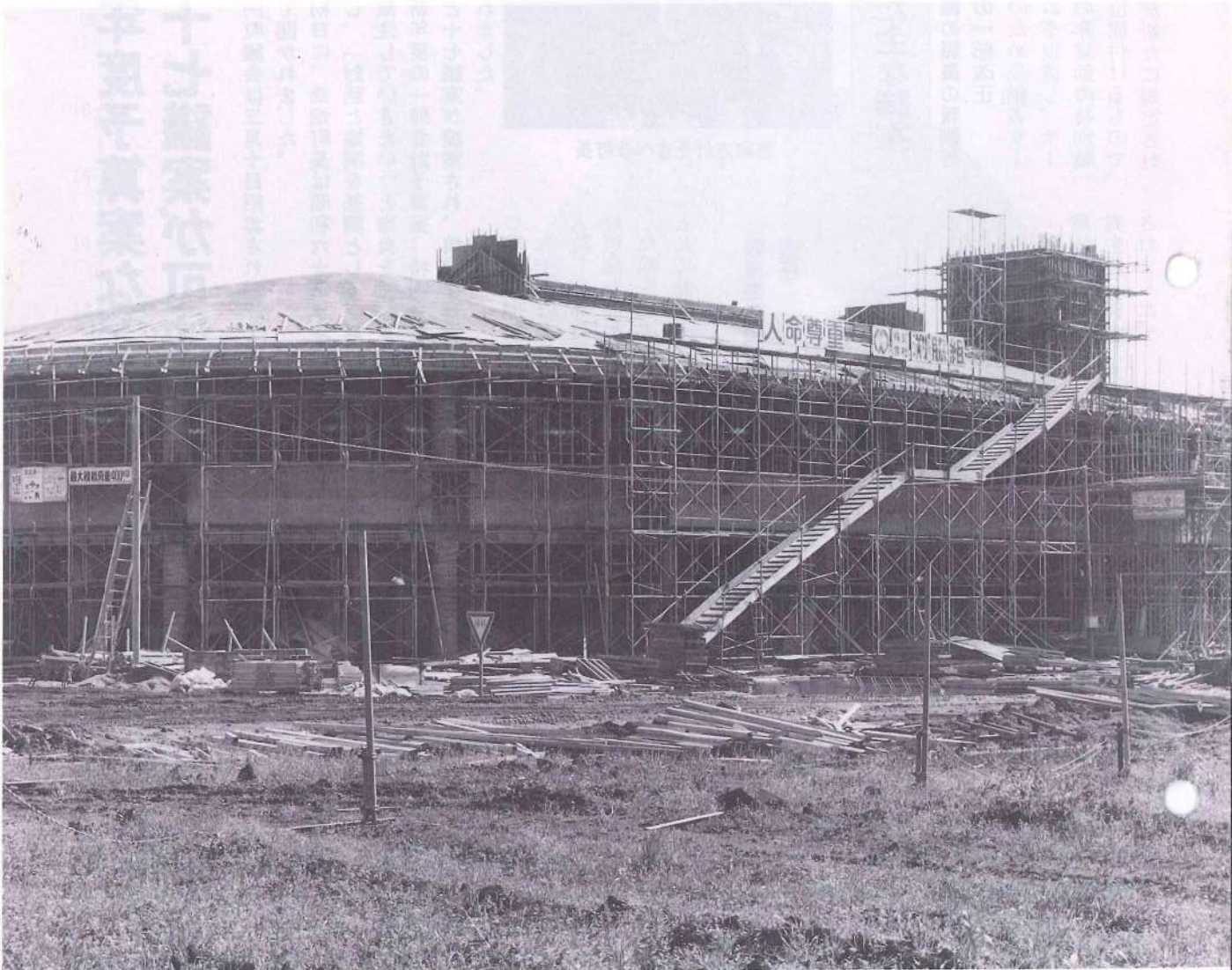
発行・編集 北諸県郡三股町職員課 ☎52-1111 発行 4月15日 No 222

町民憲章 (昭和39年1月4日制定)

わたくしどもは、歴史に輝き山河うるわしい三股に生を受け、先人の協和と忍耐による郷土建設の偉業を継ぎ、郷土愛と開拓精神をもって、ここに明るく豊かな、明日の町づくりのためにこの憲章を定めます。

- 1 常に新しい希望をもって郷土の開発につとめましょう。
- 1 教育を尊び青少年を健やかに育てましょう。
- 1 環境を清潔にし健康の増進につとめましょう。
- 1 生活を工夫しよりよい風習をつくりましょう。
- 1 力をあわせねばり強く住みよい町を築きましょう。

*三股町の花 サツキ・鳥 ホオジロ・木 イチョウ



開校は来春!! 着々と進む三股西小校舎新築工事

昭和六十四年春の開校をめざして、三股西小学校の建設工事が着々と進められています。

三股西小は、三股小のマンモス化を解消するため新設されるもので、今年度中に校舎のほか、屋内体育館やプール、運動場などすべての施設が整備されることになっています。

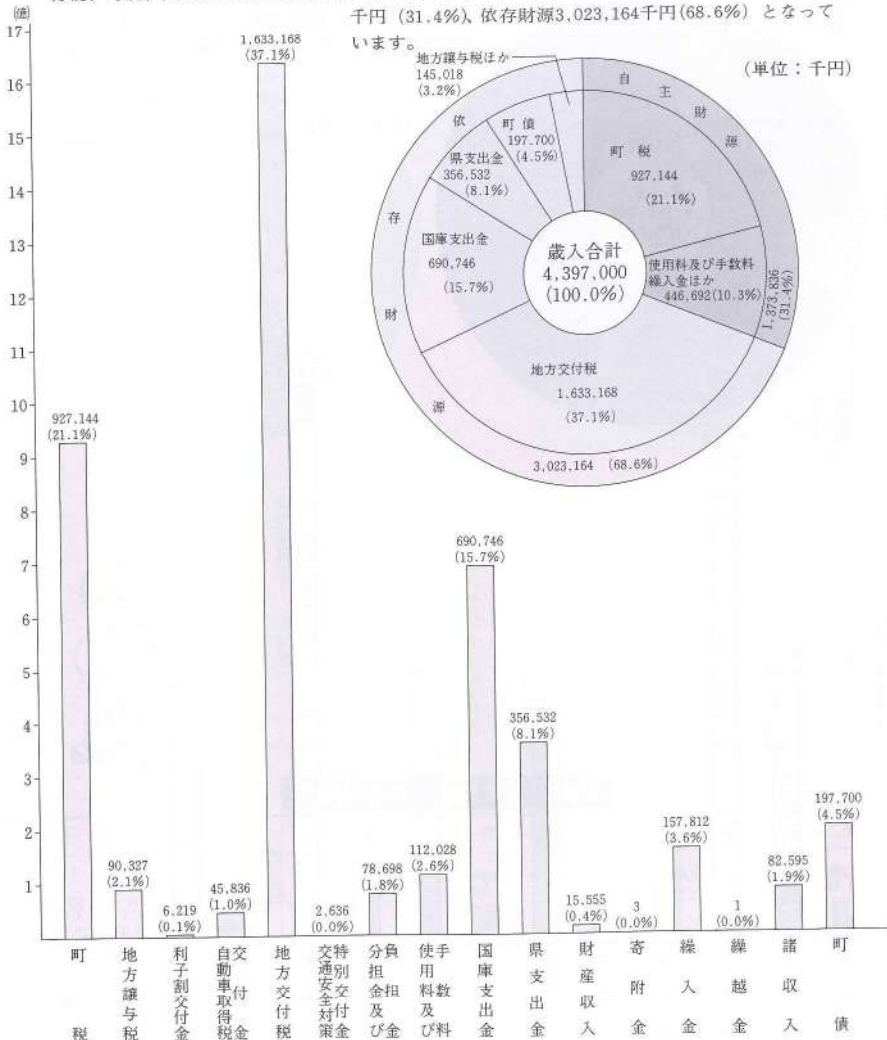
なお、総事業費は約15億円で、その一部は三股郵便局を通じて簡易保険・郵便年金積立金から融資を受けたものです。

63 / 4月号

新年度予算は43億9,700万円

昭和63年度一般会計予算 (歳入の部)

昭和63年度三股町一般会計当初予算額は43億9,700万円、昨年度当初予算額40億9,000万円に比し、7.5%の伸びとなっています。歳入予算額の主なものは、下記グラフが示すように、地方交付税、町税、国庫支出金、県支出金の順となっており、財源別区分においては自主財源1,373,836千円(31.4%)、依存財源3,023,164千円(68.6%)となっています。



3月定例議会

新年度予算案など 十七議案が可決成立

三月定例町議会は三月十日召集され、二十四日までの十五日間にわたって開かれました。
この定例会の初日に、桑畑町長は昭和六十三年度に臨む町政の方向と所信を明らかにし、「対話と協調を基調として、真に町民のための町政執行に全精力を傾注していきたい」と抱負を述べました。
定例会には、新年度一般会計予算案、特別会計予算案のほか、条例案や人事案件など十七議案が提案され、慎重な審議を経た後、すべて原案どおり可決されました。



施政方針を述べる町長

可決された主な議案

○非常勤の特別職の職員の報酬等に関する条例の一部改正
在宅福祉向上のため高齢者サービス調整チームを設置し、チームの班員を町の非常勤の特別職の職員として位置付けるもので、その報酬などが新たに規定されました。



○教育委員会委員に榎田秀生氏を連任
○寡婦医療費助成に関する条例
六十歳以上七十歳未満の寡婦が入院し一部負担金を支払った場合、負担金の額から一日四百円を控除した額を、規定により町単独事業として助成することになりました。

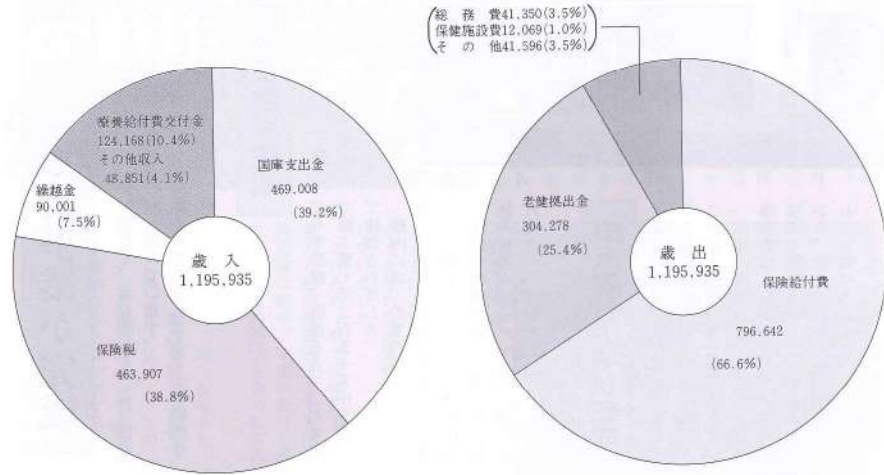
鈴木重孝氏が健康上の理由から辞任されたに伴い、後任に榎田秀生氏(梶山、六十四歳)が連任されました。

昭和63年度 主要事業実施計画

事業名	事業内容	事業名	事業内容
在宅老人サービスセンター新築事業	鉄筋コンクリート 平家建360m ²	都城三股線交通安全施設事業	歩道整備
団体営農道整備事業	○中原 拡巾舗装 L=450m ○下原 舗装 L=300m	新馬場複線線路事業	L=206m W=12m
長田農道特殊改良事業	舗装整備	南原都市下水路事業	L=322m
五本松溜池等整備事業	水路整備	上米公園整備事業	公園用地取得及び造成工事
暖地営農むらづくり総合対策事業	○餅原営農研修館 木造平家建 194.7m ²	宮村公営住宅建設事業	木造2種 10戸
農村地域定住促進対策事業	○勝岡広場整備 ○餅原連絡道舗装	義務教育施設整備事業	○三股西小学校施設整備事業 ①校舎(継続)鉄筋コンクリート造2階建 ②屋内体育館鉄骨鉄筋コンクリート造り ③プール ④屋外環境整備
勝岡溜池線道路整備事業	改良舗装	三股町研修センター新築事業	木造平家建 建築面積197.08m ²
高才餅原市場線特改1種事業	L=150m W=7.0m	町単町道整備事業	○改良 東原15号線L=100m ほか ○舗装 前日夢池北1号線L=180m ほか
都市下水路整備事業	花見原都市下水路雑排水対策事業委託料ほか	消防施設整備事業	○防火水槽建設2基 ○小型ポンプ水槽付積載車2台

昭和63年度国民健康保険特別会計予算

(単位：千円)



今年度の国民健康保険特別会計の当初予算は、一九五、九三五千円で対前年度比七・四％増となっています。

歳入では、国庫支出金が制度改正等により、対前年度比、マイナス一〇％の四六九、〇〇八千円、療養給付費交付金が対前年度比五〇・二％増の二二四、一六八千円を見込み計上しています。

保険税は、医療費等の増加に伴い、対前年度比二一・八％増の四六三、九〇七千円さらに保険税の軽減をはかるために、前年度からの繰越金九〇、〇〇一十千円、及び繰入金三九、二二九千円を計上しています。

歳出では、保険給付費及び老人保健拠出金が対前年度比六・六％増の一、一〇〇、九二〇千円を見込み計上し、保健施設費は、健康保持増進の充実はかるため、対前年度比三三・四％増の二二、〇六九千円を計上しています。

予算からみた医療費と保険税

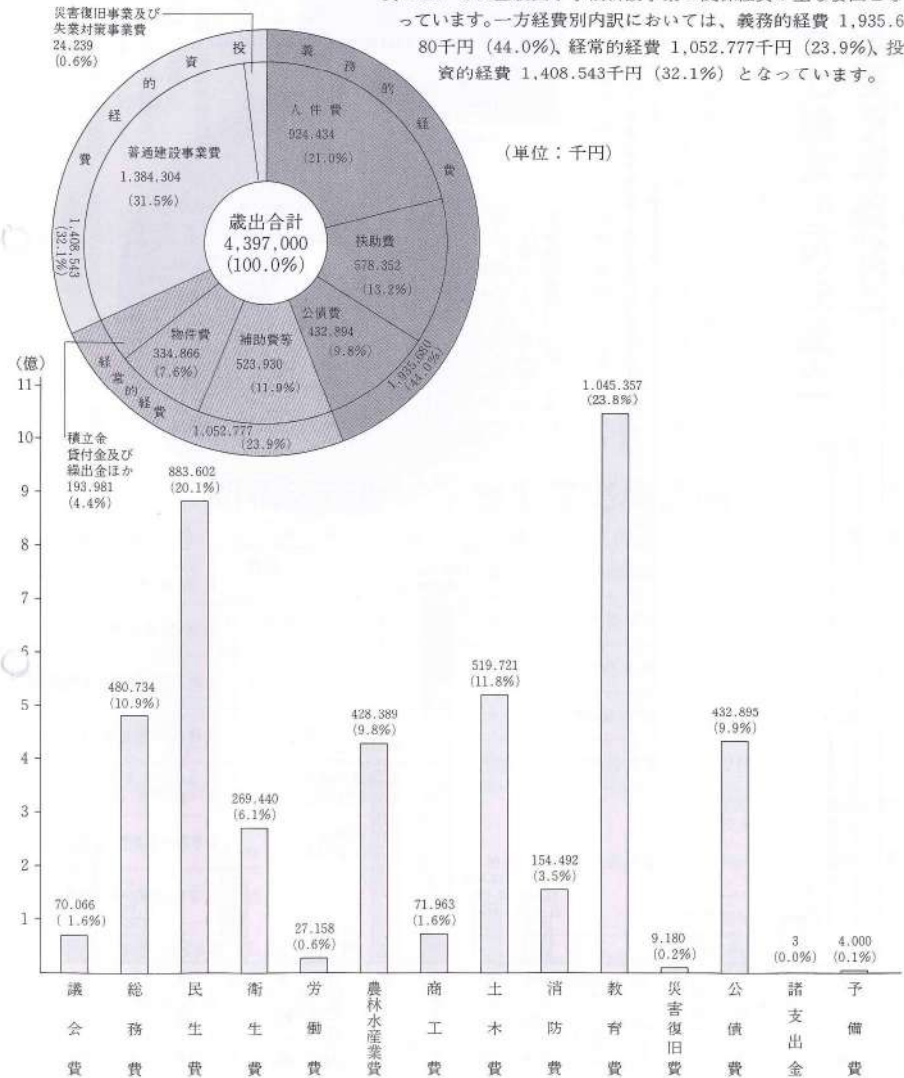
(単位：円)

		59年度	60年度	61年度	62年度	63年度
1世帯当たり	医療費	250,967	260,166	290,156	306,780	318,277
	保険税	76,712	88,089	101,332	122,183	134,116
1人当たり	医療費	93,653	99,693	113,237	121,363	127,083
	保険税	28,627	33,755	39,546	48,336	53,550

昭和63年度一般会計予算 (歳出の部)

(注) 歳出

歳出予算額の目的別予算額は、下記グラフが示すように教育費、民生費、土木費、総務費、公債費の順となっており、第1位の教育費においては三股西小学校新設事業の関係経費が主な要因となっています。一方経費別内訳においては、義務的経費 1,935,680千円 (44.0%)、經常的経費 1,052,777千円 (23.9%)、投資的経費 1,408,519千円 (32.1%) となっています。



待望の三股橋が完成



親子3代夫婦が「渡り初め」

県が昭和五十九年度から工事を進めていた三股橋が完成し、その開通を祝う式典が去る三月三十日、現地で開催された。式典には、県や本町から関係者約百五十名が出席。神事の後、副知事や桑畑町長など六名がテープカットを行いました。続いて、木佐貫岩則さん(83)一家の親子三代夫婦を先頭に、出席者全員が渡り初めを行い、また橋の中央では新馬場棒踊りが披露され式典に花を添えました。県道都城・北郷線は、都城盆地と日南市を結ぶ主要幹線道路

であると同時に、本町にとっては住民の重要な生活路線となつていますが、旧三股橋は老朽化が進み、しかも狭いなため大型車の離合ができないなど大変な不便を来していました。このため、県では昭和五十九年度から総事業費四億三千万円で改良工事に着手、4年の歳月を経てここに完成の運びとなったものです。新三股橋は、長さ百五十七・五メートル、幅は車道七・二五メートル、歩道二・五メートルの一等橋で、この開通により県南地区の産業経済は大きく前進することが期待されています。



渡り初めをする木佐貫さん一家



第一地区公民館が完成

旧公民館が老朽化したため、移転改築に取り組んでいた第一地区公民館がこのほど完成しました。この施設は、鉄筋コンクリート

町では、総合計画の目標とする「より明るく、より美しく、より住みよい町」の創造をめざして各種事業に取り組んでいます。ここで、昨年度に取り組んだ主な事業をみてみましょう。(三股西小学校の校舎新築事業は表紙に掲載)

造り平屋建、面積五六三、六九㎡で総工費七千二百五十万円を投じて建設されました。館内には、公堂のほか、第一、第二会議室、調理実習室、図書室などが整えられており、地区住民の研修や教養の向上、及び社会福祉の増進が図られるものと期待されます。

田上農村広場が完成

暖地営農村づくり事業として工事を進めていた田上農村広場が、このほど完成しました。広場の面積は三、九五〇㎡で、事業費は八百四十一万円。多目的広場や児童コーナーが整備されており、住民の福祉向上が図られるものと期待されます。



勝岡プールも間もなく完成

改造工事を進めている勝岡小学校のプールが、間もなく完成します。これは、地盤が軟弱なため傾きや漏れを生じ、昨年の夏から使用不能となつていたので、新型のアルミ製プールに改造するもの。総事業費は四千八百二十万円となつています。今月には完成の予定で、授業の正常化と児童の体力向上が図られるものと期待されます。

その他の主な完成事業

事業名	事業内容	事業名	事業内容
土地改良総合整備事業	○早馬下農道改良舗装 ○勝岡農道舗装	新馬場複線線街路事業	L=200m W=12m
団体営農道整備事業	○中原扯巾舗装 ○高見扯巾舗装	都市下水路事業	南原都市下水路
暖地営農むらづくり事業	集落環境整備	塵芥処理施設整備事業	危険物埋立用地取得
高才餅原市場線特改1種事業	L=200m W=5m	臨時地方法道整備事業	舗装改良ほか
勝岡夢池線道路改良事業	L=100m W=10m	消防施設整備事業	○防火水槽建設2基 ○可燃ホシソ付積載車2台 ○集会場兼機材庫2棟

ガンと成人病予防に食物繊維を!!

食べたいものは、何でも食べられるといっても、言いすぎない程、豊かになった現代人の食卓。一方では、栄養過多からくる成人病や子供の肥満など、歓迎できない問題がふえています。そこで、今回は、家族の健康の維持増進、及び、成人病予防に、一役買おうと言われている食物繊維を取り上げてみました。

まず、食物繊維の働きは、次の4つがあります。

- 1、悪玉コレステロールを下げる働き
- 2、毒性を抑制する働き
- 3、大腸ガン予防
- 4、血糖値の上昇を抑制する働き

いわゆる腸の病氣、胆石症などの予防に役立つわけです。

そして、繊維の取り方が少ないと、単に、便秘になるだけでなく、食物が腸内に長く停滞している

町立病院の健康教室

と、腸内細菌の作用により、発ガンに関係する多数の有害物質や毒素が生まれ、大腸ガンの発生が高くなるわけです。反対に、高繊維食は、有害物質の生成を防ぎ、便量を増し、体外に早く排出して、抗ガン作用を発揮します。おまけに、食品に混入している有害物質も体外に速やかに排出します。(いいことづくめです。)では一体、食物繊維は、どんな物に含まれているのでしょうか。野菜類一特に、ごぼう、ホーレン草、モヤシ、人参、カボチャなど、穀類、芋類、果物類一特にりんごが多い。海苔や海藻類などです。

フランスのとれた、食事・栄養に気をつけて食物繊維を多く取るよう心がけましょう。



「法の支配」をこ存知ですか

◆◆5月1日から7日は憲法週間◆◆

五月三日の憲法記念日を中心とする一週間は、憲法週間です。週間中、裁判所では講演会などの各種行事を行っています。

この機会に、「法の支配」の関係について考えてみませんか。

法は自由と平等を保障

五月三日は、憲法記念日です。日本国憲法が昭和二十二年五月三日に施行されたことを記念して、国の成長を期するために定められた記念日です。

裁判所では、毎年、五月一日から七日までの一週間を憲法週間とし、法務省や日本弁護士連合会の協力を得て、講演会等の各種行事を行っています。

そこでこの機会に、日本国憲法が重要な原理として採用している「法の支配」と裁判所の働きについて説明しましょう。

民主主義は、本質的には、個人を人間として尊重し、個人の自由と平等を保障することを目標としています。日本国憲法も基本的人権を広く保障しています。ただし、個人の自由も、他人の自由と矛盾せず、共存できる範囲において認められることに注意する必要があります。

法は、このような自由の共存を図る上で重要な役割を持っています。

裁判所は

「憲法の番人」

す。すなわち、民主主義の下における個人の自由は、法によって最大限の保障をされてはいますが、反面、公共の福祉等の要請によりその限界が定められているので、このように、個人の自由を単に個人の侵害から保護するばかりでなく、万一、国家権力が不当に行使された場合には、この侵害から国民の権利や自由を保護する役割も持っているのです。

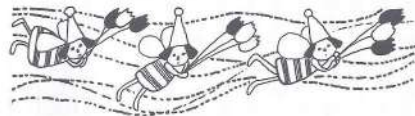
このような法の下においてこそ、すべての国民が安心して平和な生活を送ることが出来るわけです。

裁判所は、「憲法の番人」として法の支配の維持について最終的な責任を負っています。国民の間に法律に関する争いが生じたり、国民の人権に対して不法な侵害があった場合には、裁判所は、憲法や法律に従った公平な裁判を通じて国民の権利を守り、国民のための正義を実現します。

裁判所が日本国憲法の中で違憲立法審査権という重要な権限を与えられ、その役割が高く評価されているのも、このような理由によるのです。

日本国憲法が施行されて以来裁判所は法の支配を維持する重要な役割を果たしてきましたが、法の支配を支えるうえで最も大切なことは、国民の皆さん一人一人が自ら法を守るという姿勢だと思えます。

法の支配の意義と裁判所の役割をよく理解していただき、名実ともに二層法の支配の行き届いた国にしたいというではありませんか。



手づくり料理で

コミュニケーション

梅シロップ

アルコール分がないから 子供でも飲めます

梅酒を作るときに、青梅を少し多めに買って作ってみたいのが、梅シロップです。

これは、青梅と砂糖だけで作るシロップ。アルコール分がぜんぜんありませんから、子供でも飲めます。作り方もとても簡単です。

材料
できあがり量約 四〇〇ml

青梅……五〇〇g
砂糖……三〇〇〜五〇〇g（梅の重さの六〇〜一〇〇%）
一・五ℓの保存びん

皮はしま模様にもく

□青梅は水で洗って、軸をとり除きます。ふきんで水気をよくふきとります。

□皮をむいたところと、むかないところが交互になるよう、包丁で

実がしぼんだら すぐにひきあげる

薄く、しま模様はむきます。このようにむくと砂糖がしみこみやすくなります。

③保存びんをきれいに洗って乾燥させ、青梅と砂糖を交互に入れ、ふたをして四〜五日おきます。

④四〜五日の間に、時々びんごとふって、砂糖をとかします。

冷水で割ったリフル ーツを加えて工夫を

⑤シロップは細口びんに移して冷蔵庫で保存します。冷蔵庫で二〜三か月もちます。

この梅シロップを冷水で割ったリ、ソーダで割ってフルーツ類を加えパンチにしてもいいものです。

図書館だより 第三十号

一、園児が「ほんよみにんぎょう」をプレゼント

去る三月十一日、みまた幼稚園の年長児五十八名が先生といっしょに絵本読みをしました。

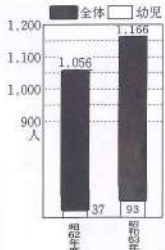
「ほんをみせてくださいってありがとう。しょうがつこうにいつてからも あそびにくるからね」と書いた「ほんよみにんぎょう」をプレゼントしてくれました。



二、昭和六十二年度をふりかえって

1、登録者数の比較

(三月末現在)



2、いつもいっしょ小学生姉妹
二人仲良く、いつもいっしょに図書館へ。一年間に二十九回も来館して本を読んだほほえましい姉妹がいました。

3、受持の先生といっしょの小 学生たち

土曜日の午後は、きまって担任の先生の車でいっしょ。一年間に二十三回も本を借りて帰った小学生たち。若さと愛情あふれる師弟の姿がありました。

4、お母さんといっしょの幼児

「幼児時代から本に親しみを……」とお母さんの車でいっしょに。一年間に勝岡小学校から二十九回も入館されたご家庭がありました。

育てよう緑と花のある
郷土をテーマに



決意を述べる堀内さん



植樹祭を開く

緑化推進委員会北諸支部による植樹祭が、三月五日旭ヶ丘運動公園で開かれました。

これは、緑と花のある郷土づくりを進めるもので、一市五町から関係者百五十名が参加。

桜とクヌギ百二十本を記念植樹した後、林研グループの堀内義美会長が「本日の植樹祭を契機に緑の重要性を再認識し、緑豊かな住みよい郷土づくりに邁進することを誓います」と決意を述べました。

本町関係の受賞者（敬称略）
 ○支部長表彰 吉行次男 勝岡みどりの少年団
 ○町長表彰 高妻カスミ 林研グループ

活性化に弾みを期待!! 首藤製糸(株)を誘致

町が誘致を進めていた都城市の首藤製糸(首藤國一)社長、資本金千五百万円、従業員二十五名)が、夢池の工業団地に進出することが決まり、その起工式が三月十七日現地で行われました。

生糸製造で知られる同社は、昭和三十一年の創立。現在都城ダイエーの北隣りで操業されていますが、このほど工場の新鋭化を計画され、本町への移転が決まったものです。

新工場の規模は、六千四百㎡で八月に全面操業開始を予定。同社の進出により、本町



の活性化に弾みがつくものと期待されます。

大正琴にうっとり 老人ホームを慰問

大正琴でお年寄りを元気づけようと、先ほど都城市の八絃会二十五名(うち本町出身者六名)が、老人ホーム清流園を訪れました。同会は、趣味の大正琴を通して各施設の慰問を行っており、その活動の一環として来園したのも。当日は、荒城の月や黒田節、知床旅情など昔なつかしい十八曲が披露され、琴の奏でる美しい音色



花の種子2,000袋を配布 —花いっぱい街頭キャンペーン—

新ひむかづくり運動町民会議は、先ほど中央交差点で「花いっぱい運動」街頭キャンペーンを行いました。

これは、新ひむかづくり運動の一環として実施したもので、花におおわれた町づくりを進めるのがねらい。

当日は、三股中の生徒会やPTA、公民館長など約九十名が参加し、花の種子を付けた風船を空に飛ばした後、カスミ草やポピーなど花いっぱい運動への参加を呼びかけました。



にお年寄りほうっとりしていました。



事故や違反を追放し 交通安全キャンペーン

交通安全協会三股支部は、春の全国交通安全運動(4/1~5/31)の初日、東高校前の沿道でキャンペーンを行いました。

これは、本町の交通安全事故違反が県内ワースト一位となっているため、事故や違反を追放し汚名を返上しようとしたもの。

当日は、支部の三役や婦人部のほか、議会総務委員も参加してチラシやヤクルトを配布し、安全運転を呼びかけました。

町民みんなの力で交通安全運動を推進し、事故や違反のない明るい町を築きたいものです。

新規採用職員九名に 辞令を交付

本町の新規採用職員九名に、四月一日辞令が交付されました。

九名の新規採用職員は、大勢の志望者の中から厳しい採用試験を突破したもので、地方公務員としての誇りと自負を胸に秘め、職務に対する熱意がうかがえました。

辞令を手に、一人ひとりが力強く職務に対する宣言を行った後、町長が「今日の感激を忘れず、町政進展のため職務に精励してください」と激励の言葉を贈りました。

新規採用職員の配属は次のとおり(税務課)鍋倉祐三(福祉生活課)永吉雅彦、松野良保(環境保健課)南畑伸一郎(農地課)西畑博文、永山誠、佐藤孝(保健体育課)国分至(農畜産課)出水直美



郷土芸能を披露



谷の太郎踊り

ふるさとづくり」をめぐり、第五回郷土芸能大会が、三月十三日町体育館で開かれました。

これは、町青年連協(新地学会)が主催したもの。

大会には、町内の郷土芸能保存会など六団体が参加し、民俗郷土史研究家の鳥集忠男氏の解説、進行で踊りが次々に披露され、会場につめかけた観客から盛大な拍手が送られていました。

当日披露された芸能
 ・上米棒踊り・谷太郎踊り
 ・餅原棒踊り・夢池後踊り奴踊り
 ・長田棒踊り・新馬場棒踊り

町議会議員の 福永克昭氏 永眠される

町議会議員の福永克昭氏(夢池、四十六歳)が、去る三月三十一日悲しくも永眠されました。

故福永氏は、昭和十七年生まれ旧県立都島高校を卒業後、昭和三十五年九月に国鉄に奉職、二十七年の永きにわたって鉄道事業の進展に尽力されました。

その後、昭和六十二年四月に町議会議員に初当選され、農林建設



折り申し上げます。

氏(の)安らかな御冥福を心からお祈り申し上げます。

常任委員会副委員長や緑化計画審議会委員として、町政の進展と住民の福祉向上に尽力されておられました。

鯉のぼりが電線に引っかかったら

○鯉のぼりのポールを立てる時、倒す時は電線にふれないように注意してください。
 ○万一、鯉のぼりが電線に引っかかったら、危険ですから自分ですらずに、九州電力へ
 ☎三三三九二一〇番へ



おしらせ



確定申告が
間違っていたら

確定申告書を提出した後で、計算間違いなどのために、申告書の記載内容に間違いのあることに気付いた人は、正しい申告に訂正しましょう。

申告漏れがあったり、計算が誤っていたことなどにより、実際よりも少ない税金を申告していたり、還付を受けた金額が多過ぎたりしたときは、「修正申告」をして正しい金額に訂正しましょう。この「修正申告」は、税務署から更正を受けるまではいつでもできますが、なるべく早くする方が有利です。

また、逆に申告した税金が多過ぎたり、還付を受けた金額が少な過ぎたことに気付いたときは、正しい金額にするために「更正の請求」をすることができます。この「更正の請求」のできる期間は、来年の三月十五日までです。

なお、確定申告をしなければならぬ人が申告を忘れていたときは、申告期限（三月十五日）後でも申告をすることができます。これを期限後申告といい、税務署から決定を受けるまではいつでもすることができますが、なるべく早く

くする方が有利です。

修正申告や更正の請求、期限後申告について、お分かりにならないことがありましたら、税務署にお気軽にお尋ねください。
 都城税務署 ☎二二四三七七

愛の
献血



次のとおり献血にご協力いただきます。

- 二月二十九日
 都城東高等学校 七十五名
 役場（来庁者含む）五十六名
 - 三月十五日
 隅倉（懐、聖天） 九十六名
 宮崎ジデオ（懐）
- 今後とも、皆様のあたたかいご協力をよろしく願っています。

愛の「寄付」

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきます。誠にありがとうございます。

昭和六十三年二月一日から
 昭和六十三年三月三十一日まで

三股町の人口

昭和63年4月1日現在

男 9,311人 出生 25人
 女 10,383人 死亡 21人
 人口19,694人 転入218人
 転出236人

世帯数 6,354戸

前月比 -14人

寄付者 続柄	故人名	地区	金額
川原 勝母	クサ東原	五万	三万
下村 国秀	ミサ上新	二万	一万
山元 光秀	重光	一万	五千
下牧 トシ母	ヤエ餅原	一万	五千
中馬 テル夫	政勝	一万	五千
中西 定行	ヨシノ	一万	五千
中内 利正	清次	一万	五千
片平 フミ子	アキエ	一万	五千
山元 文夫	吉治	一万	五千
小牧 利英	清	一万	五千
和田 兼光	チヨ	一万	五千
寺本 義則	西田 琴子	一万	五千
山元 幸子	次信	一万	五千
松山 喜熊	ミキ	一万	五千
寿本 良博	シツ	一万	五千
倉園 弘二	キミエ	一万	五千
加治屋 ナツ夫	春雄	一万	五千
西村 武市	ツキエ	一万	五千
福田 ミヨ夫	幸雄	一万	五千
重信 和人	家人	一万	五千
園田 利盛	ヨシ山	一万	五千
西村 好美	ユク餅原	一万	五千